

# 2015年12月期第1四半期 決算説明資料

株式会社RS Technologies  
東証マザーズ：3445

1

14. May. 2015



## 注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- 2014年12月期第1四半期の財務数値につきましては、有限責任 あずさ監査法人の四半期レビューおよび監査を受けたものではありません。

2

14. May. 2015



## 目次

2015年12月期第1四半期決算情報	P. 4- 7
中・長期的な経営方針	P. 8-13
2015年12月期第2四半期以降の取り組み	P.14-16
参考資料	P.17-24

## 2015年12月期第1四半期 決算情報

# 2015年12月期第1四半期決算情報 ☆ サマリー ☆

■ 第1四半期として売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに過去最高 ■

単位：百万円

	2015年12月期 第1四半期 (2015年1~3月)	2014年12月期 第1四半期 (2014年1~3月)	前四半 期累計 同期比	2015年12月期 第2四半期累計 予想 (2015年1~6月)	進捗率
売上高	1,209	1,073	112.7%	2,496	48.4%
営業利益	307	215	142.9%	314	97.8%
営業利益率	25.4%	20.1%	+5.3pt	12.6%	-
経常利益	275	85	322.7%	283	97.2%
経常利益率	22.8%	7.9%	+14.9pt	11.3%	-
当期(四半期) 純利益	110	52	211.2%	80	138.0%

※2015年12月期第2四半期累計予想数値は、平成27年3月24日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました数値と変更はございません。

# 2015年12月期第1四半期決算情報 — 連結損益計算書 —

単位：百万円

	2015年12月期		2014年12月期		比較増減
	第1四半期 (2015年1~3月)	第1四半期 (2014年1~3月)	第1四半期 (2014年1~3月)	比較増減	
売上高	1,209	1,073		136	
売上原価	739	705		34	
販売費・一般管理費	164	153		11	
営業利益	307	215		92	
(%)	25.4%	20.1%		5.4%	
営業外損益	32	△ 130		162	
経常利益	275	85		190	
(%)	22.8%	7.9%		14.8%	
特別損益	△ 75	-		△ 75	
税引前当期利益	200	85		115	
法人税等	89	33		56	
当期利益	110	52		58	
(%)	9.1%	4.9%		4.3%	

## 【当四半期業績のポイント】

第1四半期として売上高、営業利益、経常利益、当期利益ともに過去最高

### ■売上高

・売上高は、前年同期比で12.7%増加。

### ■売上原価

・売上構成が変動し、売上原価率は前年同期比4.6%減少し、61.1%。

### ■販売費・一般管理費

・ウェーハ運賃の削減（原油安による）

営業利益は307百万円 営業利益率25.4%

第1四半期の実績が、上半期予算に対して、**97.8%の進捗率**

当期利益は110百万円 当期利益率9.1%  
予算で織り込んでいた設備移設費用が第2四半期以降にずれこんだため

第1四半期の実績が、上半期予算に対して、**138.0%の進捗率**

# 2015年12月期第1四半期決算情報 — 連結貸借対照表 —

単位：百万円

	2015年度 第1四半期末	2014年度 年度末	比較増減
<b>資産の部</b>			
現金及び預金	2,446	1,190	1,255
売上債権	724	697	27
たな卸資産	570	524	46
その他流動資産	546	349	197
有形固定資産	6,996	3,918	3,077
無形固定資産	14	15	△1
その他固定資産	78	130	△52
資産合計	11,373	6,824	4,549
<b>負債の部</b>			
支払手形及び買掛金	203	151	52
短期借入金	584	483	101
1年内返済長期借入金	613	344	269
長期借入金	6,570	2,926	3,644
その他流動負債	911	1,315	△404
その他固定負債	4	9	△4
計	8,886	5,228	3,659
<b>純資産の部</b>			
資本金	616	199	417
資本剰余金	616	199	417
利益剰余金	1,225	1,114	111
その他	29	84	△55
計	2,487	1,596	891
負債・純資産合計	11,373	6,824	4,549

## 【主要科目のポイント】

### ■売上債権

売上債権回転期間は 55日前後。

### ■たな卸資産

微増。台湾主要顧客向け在庫の積み増し。

### ■有形固定資産

増加。  
三本木工場への新設設備搬入済未稼働。

### ■有利子負債

(短期借入金、1年内返済長期借入金、長期借入金)

増加。  
三本木工場・台南工場への設備資金の借入。

## 中・長期的な経営方針



## 中・長期的な経営方針

●今期のトピックス●  
①事業計画通りの新設・増設による生産力拡大

②再生市場での当社のシェア拡大

③伸長する需要の取込み

④潜在的な再生市場の開拓

⑤中国半導体マーケットへの参入

2015/3/24 当社発表「成長可能性に関する説明資料」より一部抜粋

## 「事業計画通りの新設・増設による生産力拡大」

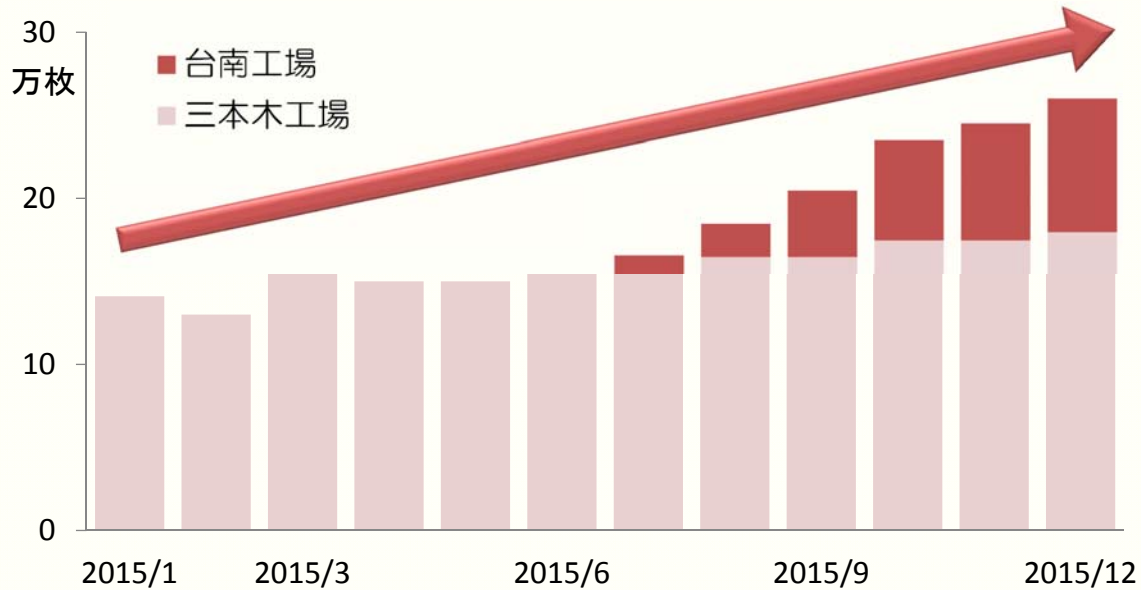
～●今期のトピックス●当社300mmウェー八月産生産能力推移～

	2015/3末時点	2015/6末予想	2015/12末予想
三本木工場 (宮城県大崎市)	14 万枚	16 万枚 (2015Q2 から売上寄与)	16 万枚
台南工場 (台湾台南市)	- 万枚	- 万枚	10 万枚 (2015/7から 生産開始予定)
合計	14 万枚	16 万枚	26 万枚

工場の増設・新設により、上記の通り生産能力は拡大していきます。

# 「事業計画通りの新設・増設による生産力拡大」

～●今期のトピックス●三本木工場と台南工場300mmウェーハ出荷枚数推移～

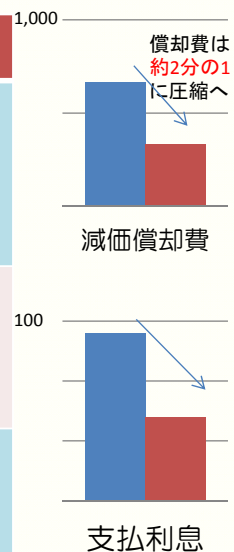


生産数量の増加に伴い、上記の通り出荷枚数も増加傾向の見込み。

# 「事業計画通りの新設・増設による生産力拡大」

～●今期のトピックス●当社設備投資（日本・台湾）と有利子負債の推移～ 単位：百万円

	2014/12 末時点	2015/3 末時点	2015/6 末予想	2015/9 末予想
三本木工場 (宮城県大崎市) 設備投資	2,433 建設仮勘定	5,168 建設仮勘定	5,300 機械装置の立ち上げ・ 完成により仮勘定から 資産勘定に振替	5,300⇒2,770 <b>補助金入金見込</b> 注。(2,530については補助 金交付により設備取得金 額から圧縮記帳の見込み)
台南工場 (台湾台南市) 設備投資	1,110 建設仮勘定	1,472 建設仮勘定	1,472 建設仮勘定	2,586 クリーンルームや機械 装置を別に取得中。そ の後仮勘定から資産勘 定に振替
有利子負債残高 (連結合計)	3,753	7,767	7,666	7,565⇒5,035 <b>補助金入金見込</b> 注。(2,530については補助 金交付により借入金を前 倒して返済予定)



注. 当社は「平成24年度円高・エネルギー制約対策のための先端設備等投資促進事業」に認定されております。

これは、円高やエネルギー制約を克服するとの観点から、産業競争力強化・空洞化防止に向け、最新設備・生産技術等の導入を支援するために出融資等の金融支援を行うことに加え、設備投資に係る費用の一部を国が補助するというものです。

(参考: <http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s130823001.html>)

## 2015年度中期計画の概要

単位：百万円

会計年度	2014/12 (実績)	2015/12 (計画)	2016/12 (計画)	2017/12 (計画)
売上高	4,566	5,486	7,276	7,442
営業利益	1,166	927	1,820	1,912
当期純利益	664	420	1,263	1,324

【前提】（2015年度～2017年度）

為替  
109.5 円/USドル

2015/3/24 当社発表「成長可能性に関する説明資料」より抜粋

## 2015年12月期 第2四半期以降の取り組み



## 三本木工場への増設



15

14. May. 2015



## 台南工場への新設

### ■台湾への進出

台湾は半導体の集積地で、世界で現在最も重要視されている市場となります。なかでも、台南には今後も、半導体工場の新設が予定されており、それに併せて当社も台南に進出しました。

会社名	艾爾斯半導體股份有限公司
資本金	NT\$2億（7.4億円）
設立	2014年2月
操業開始	2015年7月
生産能力（新設）	月産10万枚／300mmウェーハ
事業内容	半導体用シリコンウェーハの再生加工、販売



16

14. May. 2015





# ご参考

## 会社概要

社名	株式会社 RS Technologies
本社	東京都品川区大井1-23-1 カクタビル 4F
三本木工場	宮城県大崎市三本木音無字山崎26-2
台南工場	No.1 Nanke 7th Rd., Southern Taiwan Science Park, Tainan City 74144 Taiwan
経営理念	「地球環境を大切にし、世界の人々に信頼され、 常に創造し挑戦する。」
資本金	61,645万円（2015年3月31日時点）
取締役	方永義、鈴木正行、本郷邦夫、近藤淳行 石黒正亨、李宗根、渡邊泰紀、内海忠
設立	2010年12月10日
操業開始	2011年1月1日
事業内容	半導体用シリコンウェーハの再生、加工、販売、 ソーラー売電 他

# シリコンウェーハ再生事業-半導体とウェーハ

各種電気製品や自動車等の基幹部品となる半導体は円盤状のシリコンウェーハから作られます。  
我々は**シリコンウェーハの再生加工を行う会社**です。

# シリコンウェーハ再生事業-半導体の用途



スマホ・タブレット  
 ・ウェアラブル・自動運転  
 ・家・ビル・町・**M2M**・・・etc



世界の半導体の需要は

- ★ 世界の人口増
- ★ 新興国の経済発展
- ★ 先進国の  
デバイス用途の多様化

により拡大





# シリコンウェーハ再生事業-半導体製造概要

## 半導体製造のおおまかな流れ



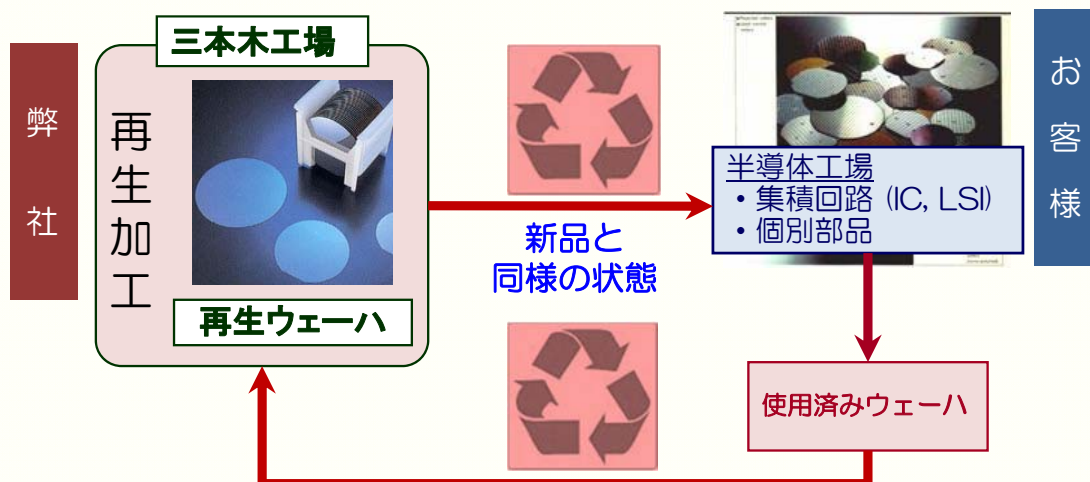
当社の再生ウェーハが大量に使用されます。

# シリコンウェーハ再生事業-再生とは？

半導体工場では700を超える工程がありますが、各工程のプロセス評価、出来栄への評価のために『モニタウェーハ』が使用されます。これらのモニタウェーハは、1回~数回使用されると使用不可となりますが、弊社は、これらのウェーハをお預かりし、精密加工をすることで再利用が可能な新品と同様の状態に戻し、同じ用途で使用していただくサービスを提供しております。

**再生ウェーハはシリコンウェーハ全使用量に対し、約21%の需要があります。**

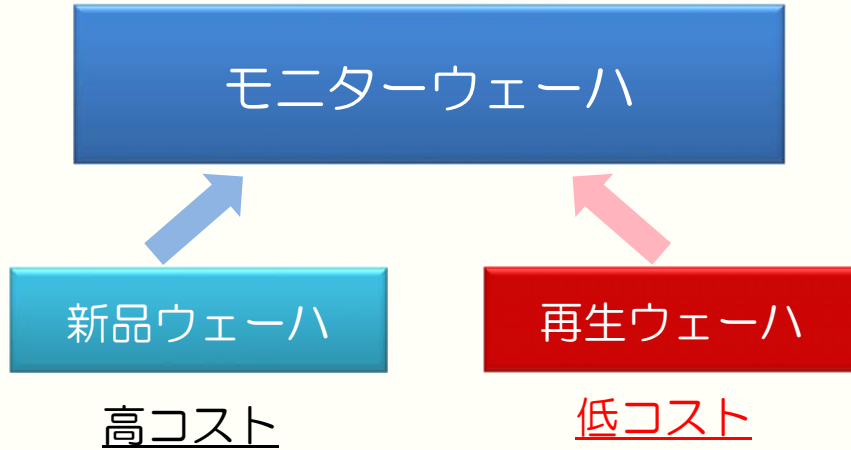
(SEMI 2012実績)



# シリコンウェーハ再生事業-なぜ再生が必要か？

◇◇ なぜ再生ウェーハの需要があるのか？ ◇◇

◎一番の目的は、お客様の**コストダウン**のためです。



※環境負荷を減らすという目的もあります。

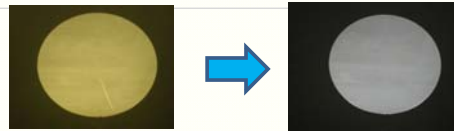
## シリコンウェーハ再生事業

## 工程概要と 当社の強み



・強み①(すべての膜を剥離可能)  
ケミカルによる除去の為、表面のダメージが最小限に→「再生回数が多い」→よりコストダウンが可能に。

★ラサ工業(化学)の特異技術を承継



・表面に付いているキズや凹凸を研磨(ポリッシング)により平滑にする



・強み②(金属不純物を除去)  
ウェーハ表面の微細ゴミ、汚れ、を洗浄で取り除く  
+ 金属不純物の除去  
特に銅 (Cu) の汚染除去に強み

